※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物の世界	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

細胞、生殖と発生及び遺伝について観察・実験などを通して探求し、生物体の成り立ちと種の保存の仕組みについて学習します。

また、生命の連続性についての見方や考え方を模擬授業の形で発表します。

2　学習の到達目標

(1)生物そのものや生物現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心を高める。
(2)生物や生物現象についての科学的に探求する能力と態度を育てる。
(3)生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物体の成り立ちと種の仕組についての知識を身に付けている。 また、生物学の基本的な法則を説明できる。 観察、実験などを適切に行える技能を身に付けている。	ヒトと生物の関連を思考し、現状把握を行うとともに今後どのようなことが推察されるか考察し、発表することができる。 観察、実験などを過程や結果を的確に把握し、明瞭に説明することができる。	日常生活の中で生物との関わりを意識して、生物に興味・関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとすることができる。 観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、科学的な見地で生物を考える態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生命現象と物質	・生体の構成(個体・細胞・分子) ・タンパク質の構造と性質	a:タンパク質について科学的な基本的知識を理解している。 b: さまざまな細胞の共通性と多様性について考察し、的確に表現することができる。 ｃ:タンパク質の構造と性質、細胞内で働くタンパク質について自ら説明できる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
	遺伝情報の発現	・DNA の構造と複製 ・遺伝情報の発現 ・バイオテクノロジー	a: DNA 構造、複製、遺伝情報の発現について基本的知識を理解している。 ｂ:遺伝子を扱ったバイオテクノロジーについて科学的に考察できる。 ｃ:バイオテクノロジーに関心を持ち、現時点での技術的なメリットとデメリットを自ら指摘することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
2学期	生態と環境	・個体群と環境 ・個体間の相互作用 ・生態系の構造 ・生物多様性とその重要性	a:個体群の特徴、環境と個体群変動との関わりについて基本的知識を理解している。 ｂ:　個体群内および個体群間の相互作用について考察し、的確に表現することができる。 ｃ:群集の特徴から生物群集の成り立ちを自ら説明することができる。また、生態系における物質生産、エネルギー効率、生物多様性について自ら発表を行い、説明できる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り
3学期	生物の進化	・生命の起源と進化	ａ:進化についての基本的知識を理解している。 ｂ:生命の起源について科学的に考察できる。 ｃ:生命の起源から現在の生物における問題との関連付けを自ら行うことができる。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート 振り返り	ノート ワークシート レポート 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度